

栄えある100年から、
さらに輝く新世紀へ。

土佐中・高等学校

新世紀募金

新世紀募金ニュース No.3

|ご支援のお願い・ご報告|

新校長を迎え、新しい年度がスタートしました。

昨年7月に始まった新世紀募金には、

4月20日現在、1億1800万円あまりの

ご寄付をいただきました。

ご協力ありがとうございます。

皆さまの一層のご支援をお願いします。

新世紀募金(募金額)

総額 118,170,261

●教育環境の整備	11,006,261
●生徒の奨学資金	3,938,000
●クラブ活動	3,226,000
●海外研修基金	100,000,000

単位:円/平成29年4月20日現在



今年度の入学式

クラブ指定内訳

◇陸上競技=110,000 ◇水泳=255,000 ◇バスケットボール=350,000 ◇バレーボール=30,000
◇ソフトボール=15,000 ◇サッカー=445,000 ◇ソフトテニス=30,000 ◇卓球=50,000
◇ハンドボール=105,000 ◇バドミントン=232,000 ◇柔道=140,000 ◇剣道=70,000
◇登山=40,000 ◇テニス=80,000 ◇弓道=180,000 ◇自転車=40,000 ◇空手道=20,000
◇高校野球=410,000 ◇棋道=10,000 ◇ギター=30,000 ◇茶道=10,000 ◇華道=30,000
◇書道=10,000 ◇吹奏楽=70,000 ◇総合科学=10,000 ◇文芸=20,000 ◇演劇=20,000
◇放送=60,000 ◇英語研究=30,000 ◇軽音楽=250,000 ※指定なし=74,000

●募金にご協力いただいた方のご芳名は、ホームページに掲載させていただいております。(匿名ご希望の方は除きます)



土佐中・高等学校
[新世紀募金会事務局]

〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10
TEL:088-833-4394 FAX:088-833-7373
E-mail:kifu@tosa.ed.jp
ホームページ <http://www.tosa.ed.jp/>



おかげさまで、土佐中・高のさらなる発展を目指す「100年人材プロジェクト」の推進に**大きな力**をいただいています。この募金を活用した7つの取り組みをご紹介します。

海外留学の制度化＝生徒・教員が海外へ

100年人材プロジェクトの一つの柱である「国際的に活躍できる人材」育成に向けて、生徒の海外留学を積極的に支援する海外留学制度を整備し、新世紀募金からの支援を明確にしました。この制度の適用を受けて、高校2年生が1名この7月からカナダに留学することが内定しています。また、1億円のご寄付をいただいた方のご趣意に沿って、教職員の海外研修規定も整備し、その適用を受けてイギリスで語学研修を受ける教員も内定しています。国際化に向けて、大きな一歩を踏み出すことができました。

ICT化の推進

英語の4能力(読む、聴く、書く、話す)試験の導入をはじめ、いわゆるアクティブラーニングが教育界の流行になっていますが、限られた時間の中で効率よく実施するためのツールとしてのICTは今や欠かせぬものとなってきています。本校でも、昨年度の全教室への電子黒板機能付きプロジェクトターの設置に続き、今年度はiPadの1クラス分追加購入など、必要に応じて導入を進めています。この面でも、募金をいただけることが大きな力になっていきます。

グラウンドの整備の実施

体育の授業や部活動、そして行事の際には駐車場としてまさに酷使しているグラウンドは、土の流失や劣化で、水はけが悪くなったり硬化して弾力がなくなるなどの問題が大きくなってきました。そこで、今年度は学校グラウンドに真砂土を補充するとともに勾配等を再構築します。また竹島グラウンド(新グラウンド)には、舗装した自転車置き場を設置するとともに、排水効果を上げる改善を図ることとしています。面積が広いだけに費用はかかりますが、募金を使わせていただいで実施に踏み切ることになりました。

部活動外部指導員の増員

部活動をさらに活性化させることは、100年人材プロジェクトの柱の一つの「スポーツ・芸術の分野で活躍する」ことに直結します。新世紀募金で各クラブ指定で募金をいただいていることは、各部にとって大きな励みになっています。今後、部活のより一層の発展のために外部指導者の積極的な導入を図っていきたく考えています。その手始めとして高知県唯一のプロサッカーチームである高知ユナイテッドSCのコーチの方を、本校サッカー部の外部指導者としてお招きしました。今後、文化部も含め他の部活動でも積極的に外部指導者を導入していきたく考えています。

文化部の支援～「2020こうち総文」めざして

2020年、高知県で「文化部のインターハイ」ともいうべき、第44回全国高等学校総合文化祭「2020こうち総文」が開催されます。伝統的に生徒の多様な希望に応じて、文化部も多種多様に展開し、かつそれぞれの分野で高知県の先頭に立って活躍している本校は、この総合文化祭でも中心的役割を担うことが期待されています。それに向けて、毎年7月から8月にかけて行われる全国総文祭への参加者が年々増加しており、広島で開催された昨年は、高知県からの参加生徒数は111名、うち15名が本校生でした。そして、宮城県開催の今年は、未定の囲碁将棋を除いても高知県から176名、本校からは43名が参加します。音楽部の弦楽分野(26名)はじめ、吹奏楽(7名)、美術・工芸(1名)、書道(1名)、放送(7名)、小倉百人一首かるた(1名)と部門数・生徒数ともに高知県で群を抜いて1位となっています。宮城県開催ということもあり、この遠征には相当の費用がかかりますが、全国のレベルを知ることは向上・発展のために必須の条件ですので、最大限の支援をしていきたいと考えています。

教職員の増員

よりきめ細かい指導のために、教職員の増員を図っていきたく考えています。教員の専任比率は全国でもトップクラスであることには胸を張っていますが、経営上の問題もあり、1クラス50名というクラス定員は指導上多くの問題を生じさせています。また、これまで本校教育を支えてきたベテラン教員が定年を迎え、本校における指導方法や技術の継承が喫緊の課題となっています。そこで、これから数年を掛けてすこしずつ教職員を増やし、その間にさまざまな面でのベテランから若手への引き継ぎを行っていきたく考えています。人件費の拡大は、学校経営にとっては非常に厳しい要素となりますが、募金も活用しながら、少しずつでも実現していこうと考えています。

生徒の就学支援・奨学金の充実

募金の使途の3つめに掲げています。経済的な理由で本校への進学を諦めるようなことがあってはならないとの思いからですが、所得額によって支給される就学支援金は、予想以上に対象家庭が多く、昨年度は高校113名、中学23名に支給されました。国・県からの補助金もありますが、学校負担額も大きく、中・高合計で886万円に上っています。新世紀募金のうち、この生徒の奨学資金に充てることを指定された金額は393万8千円ですので、約44%を募金により補うことができています。本当にありがとうございます。こうした支援の必要性は、今後もますます高まっていくものと思われます。なお、一層のご支援をお願いいたします。

「新世紀募金」お申し込み及び払い込み方法

- 1 金融機関** 添付の振込用紙に必要事項をご記入のうえ、お近くの金融機関でお手続きください。
- 2 インターネット** 学校のホームページに特設ページを開設しています。ページにアクセスし、案内に沿ってお手続きください。
*ホームページ <http://www.tosa.ed.jp/>



*現金書留による送金や学校窓口での現金による受け付けも行っております。

募金の種類

- ①一括募金** …… 一口1万円で、1口以上を原則とします。
★振込用紙利用、またはインターネットからお申し込みください。
- ②継続募金** …… 一口1年5000円、一口以上で3年以上継続を原則とします。
★インターネットからお申し込みください。

2001円以上の寄付金は、所得控除または税額控除の対象となります。

募金申し込み方法などはホームページをご覧ください。口座振込用紙のお申し込みや募金についてのお問い合わせは、事務局までお願いいたします。